

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	2718
部 名	経済部	課 名	商業観光課	課長名	加藤一嘉	
事務事業名	相模の大凧センター運営事業					
予算上の事務事業名	相模の大凧センター経費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		35210			
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます					
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				事業開始年度	
施策名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信				平成15年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立相模の大凧センター条例及び施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市観光振興計画			相模の大凧の伝統行事の保存・継承及び市民や周辺住民へのふれあいの機会の充実を図る		
計画年次	14	年度～	18	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
相模の大凧文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、地域の風土に培われた伝統文化の保存と継承努めるとともに、市民の郷土意識を高める。				(2) 対象(誰、何)		
				市民等		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1 自主事業：相模の大凧と全国の凧特別展(4月27日～5月9日)、相模川の帆掛け舟特別展(8月5日～15日)、新任凧ボランティア研修会(9月10日～10月2日)、凧づくり教室(12月18日)、「相模の凧」づくり教室(平成17年1月16日)、相模の大凧の題字書(平成17年3月27日)						
2 出前講座：夢の丘小学校他延べ9回(延べ13日、451名参加)						
6 関連・類似事業や他市の状況	凧の資料館 浜松まつり会館(静岡県浜松市)、庄和町大凧会館(埼玉県庄和町)、しろね大凧と歴史の館(新潟県白根市) 八日市大凧会館(滋賀県八日市市)、五十崎凧博物館(愛媛県五十崎町)					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	2,815	1,900	2,020	0	
一般財源	0	2,815	1,900	2,020	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	6,565	4,961	4,961	992	
事業コスト合計(a)	0	9,380	6,861	6,981	992	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	展示会見学者に対する支出の割合			対象名称(単位)	見学者(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	470	400	535	0	
対象数	0	2,291	3,938	3,000	0	
単位あたり経費(円)		205	102	178		
前年度比			0.50	1.76		

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	嵐文化普及事業の参加者数		指標式と指標の説明	参加人数 / 事業日数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	71.6	51.0		
目標	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設利用者の増加率		指標式と指標の説明	今年度利用者数 / 前年度利用者数 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	108.7		
目標	0.0	0.0	0.0	103.0	103.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 展示物の紹介や嵐づくりの指導・助言する嵐ボランティアを組織化して事業を展開する。			14 課題として認識されたこと 自主事業についても民間事業者の持つ専門的な知識を活用した指定管理者制度へ移行する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
			指定管理者制度の導入。		